

2019年3月期 第2四半期 決算補足資料

1. 決算概観（連結）	P.1
2. 第2四半期 業績のポイント	P.2
3. 第2四半期 業績の状況	P.3
4. 第2四半期 業績と予想（連結）	P.4
5. 主要製品の状況	P.5
6. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）	P.6
7. 開発品一覧	P.7～8
【参考資料】	
8. セグメント情報	P.10
9. 損益計算書の概要（連結）	P.11～12
10. 貸借対照表の概要（連結）	P.13
11. 主な業績項目の推移（連結）	P.14
12. 杏林製薬資料	P.15～18

2018年11月5日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2019年3月期 第2四半期 決算概観（連結）

(単位：百万円)	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	増減率	19年3月期 (予想)	増減率
売上高	52,386	54,628	50,758	50,360	-0.8%	114,400	+3.4%
営業利益	4,099	3,663	1,443	2,852	+97.6%	8,600	-2.5%
経常利益	4,266	3,921	1,693	3,183	+88.0%	9,200	-1.6%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	2,967	2,684	1,240	2,217	+78.8%	6,600	+0.4%

19年3月期 第2四半期 連結業績（実績）

【売上高】 薬価制度の抜本改革の影響を受けて、国内新医薬品は前年を下回る実績で推移しましたが、主力製品である「フルティフォーム」、「デザレックス」は順調に伸長しました。また、後発医薬品の売り上げは増加したものの、医療用医薬品事業合計としては減収となりました。ヘルスケア事業の実績は横ばいとなり、全体の売り上げは503億60百万円（前年比0.8%減）となりました。

【利益】 薬価改定による売上原価率の上昇等により売上総利益が前年同期に対して10億28百万円減少しました。一方で、販売費及び一般管理費は費用の削減に取り組み、前年同期に対して24億37百万円減少（内、研究開発費21億48百万円減）し、営業利益は28億52百万円（前年同期比97.7%増）と増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、22億17百万円（前年同期比78.8%増）となりました。

19年3月期 連結業績（予想）

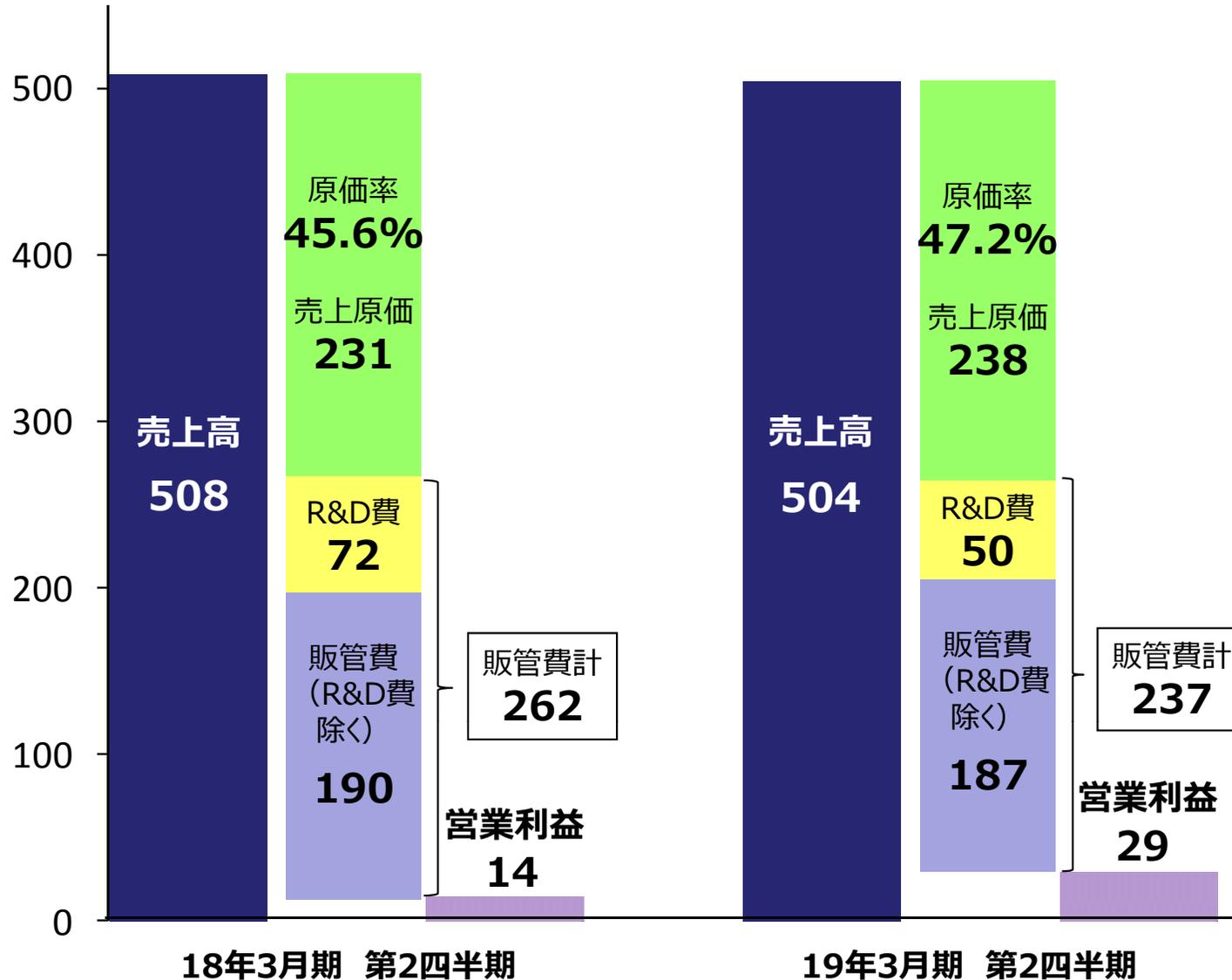
2019年3月期 第2四半期の連結業績予想について11月2日に修正をリリースいたしましたが、2018年5月10日公表の上表2019年3月期(通期)連結業績予想の変更はありません。

【配当】 2018年7月31日に公表しました配当予想（年間75円/株）の変更はございません。

（19年3月期 連結業績（予想）に対する進捗度 売上高：44.0% 営業利益：33.2%）

2019年3月期 第2四半期 業績のポイント

(単位：億円)



【ポイント】

- ▶ 売上高は前年比 4 億円減少
- ▶ 売上原価率は1.6%上昇
 - ・薬価改定等の影響
 - ・後発医薬品の売上増加

■売上総利益は前年比10億円減少

- ▶ 販管費は前年比25億円減少
 - ・費用削減の取り組み
 - ・R&D費の減少 (22 億円減少)
 - ・販管費 (R&D費除く) は3億円減少

■営業利益は前年比15億円増加

2019年3月期 第2四半期 業績の状況

(単位：億円)	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	対前年		(対前年)	(対予想) (2018年5月10日発表)
売上高	508	504	-4	■売上高	504億円	(-4) (+2)
医療用医薬品事業	480	476	-4	◆医療用医薬品事業	476億円	(-4) (+2)
◆新医薬品	350	340	-10	●国内新医薬品	334億円	(-10) (-2)
○国内	344	334	-10		18.3 (2Q)	19.3 (2Q)
○海外	5	6	+1	・フルティフォーム	54	⇒ 61 (+7) (+4)
◆後発医薬品	130	136	+6	・ウリトス	36	⇒ 35 (-1) (+1)
ヘルスケア事業	28	28	0	・デザレックス	9	⇒ 28 (+19) (-2)
営業利益	14	29	+15	・キプレス	90	⇒ 62 (-28) (+4)
経常利益	17	32	+15	・ペンタサ	80	⇒ 71 (-9) (-2)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12	22	+10	・ムコダイン	39	⇒ 31 (-8) (-1)
				・ナゾネックス	—	⇒ 13 (+13) (0)
				●海外新医薬品	6億円	(+1) (+1)
				●後発医薬品	136億円	(+6) (+4)
				主にモンテルカストAGが拡大		
				◆ヘルスケア事業	28億円	(0) (0)
				■営業利益	29億円	(+15) (+10)
				◆営業利益率は5.7%と前年比2.9ポイント上昇		
				●原価率：前年比1.6ポイント上昇 (45.6%⇒47.2%)		
				・薬価改定等による影響、後発医薬品の売上増加		
				●研究開発費率：前年比4.1ポイント低下 (14.1%⇒10.0%)		
				・R&D費の減少 (72億円⇒50億円) 開発プロジェクトの進展 (前年)		
				●販管費率 (除くR&D費)：前年比0.2ポイント低下 (37.4%⇒37.2%)		
				・3億円減少 (190億円⇒187億円) 主に人件費、販売費の減少		
				■親会社株主に帰属する 四半期純利益	22億円	(+10) (+7)

※ 第2四半期連結業績予想について、2018年11月2日に修正をリリースしましたが、対予想は2018年5月10日発表値との差異を示します

2019年3月期 第2四半期 業績と予想 (連結)

(単位：百万円)	18年3月期 第2四半期 (実績)	19年3月期 第2四半期			19年3月期 第2四半期 (予想) (2018年5月10日発表)	差額	18年3月期 (実績)	19年3月期 (予想)
		実績	差額	増減率 (%)				
売上高	50,758	50,360	-398	-0.8	50,200	+160	110,640	114,400
医療用医薬品事業	47,977	47,581	-395	-0.8	47,400	+181	104,703	108,400
◆新医薬品	34,972	34,028	-943	-2.7	34,100	-71	77,041	80,900
○国内	34,449	33,424	-1,024	-3.0	33,600	-175	73,702	79,900
○海外	523	604	+81	+15.5	500	+104	3,339	1,000
◆後発医薬品	13,005	13,552	+547	+4.2	13,200	+352	27,662	27,400
ヘルスケア事業	2,781	2,779	-2	-0.1	2,800	-20	5,937	6,000
営業利益	1,443	2,852	+1,409	+97.6	1,900	+952	8,822	8,600
経常利益	1,693	3,183	+1,489	+88.0	2,200	+983	9,345	9,200
親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益	1,240	2,217	+977	+78.8	1,500	+717	6,574	6,600

※ 第2四半期連結業績予想について、2018年11月2日に修正をリリースしましたが、対予想は2018年5月10日発表値との差異を示します

2019年3月期 第2四半期 主要製品の状況

(単位：億円)		17年3月期 第2四半期 (実績)	18年3月期 第2四半期 (実績)	19年3月期 第2四半期			19年3月期 第2四半期		18年3月期 (実績)	19年3月期 (予想)
				実績	差額	増減率 (%)	予想	差額		
国内 新医薬品	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	45	54	61	+7	+12.4	57	+4	119	123
	ウリトス (自社販売) (過活動膀胱治療剤)	38	36	35	-1	-3.7	34	+1	72	68
	デザレックス (アレルギー性疾患治療剤)	-	9	28	+19	+229.7	30	-2	49	81
	キプレス (成人製剤) (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	115	39	29	-10	-25.9	29	0	83	60
	キプレス (小児製剤) (気管支喘息治療剤)	63	51	33	-18	-35.6	29	+4	105	72
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・加齢病治療剤)	79	80	71	-9	-10.4	73	-2	153	145
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	44	39	31	-8	-21.0	32	-1	87	72
	ナゾネックス (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)	-	-	13	+13	-	13	0	-	101
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」 (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	18	50	53	+3	+5.5	48	+5	117	98
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	11	11	11	0	+0.9	11	0	22	23

※ 第2四半期連結業績予想について、2018年11月2日に修正をリリースしましたが、対予想は2018年5月10日発表値との差異を示します

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）

(単位：百万円)	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	増減率 (%)	18年3月期	19年3月期 (予想)
研究開発費	7,270	7,327	7,179	5,030	-29.9	14,243	11,600
設備投資	5,637	1,383	1,989	949	-52.3	2,885	2,800
減価償却費	1,658	1,751	1,710	1,395	-18.4	3,644	2,900

設備投資の詳細（実績／予想）

(単位：億円)	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	18年3月期	19年3月期 (予想)
工場設備	5	7	11	21
管理・販売設備	1	0	2	1
研究用設備	13	2	15	6

開発品一覧① (2018年11月5日現在)

PhⅢ ~ 承認

※前回 (2019年3月期 第1四半期 7月31日発表) からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
※承認 (18年9月)	【米国、他】 UROVANT社 : PhⅢ開始	KRP-114V	過活動膀胱	米国 メルク社	<ul style="list-style-type: none"> 従来の過活動膀胱治療薬と比較して、副作用が少なく、服薬コンプライアンスが高まることが期待される β3作動薬として、薬物相互作用が少ない 本剤が分類されるβ3作動薬は、過活動膀胱治療におけるファーストラインとなる可能性がある 	米国メルク社とライセンス契約 (14年7月) キッセイ薬品工業(株)と共同 開発・共同販売に関する 契約を締結(16年3月) 米国メルク社とアジア地域に おけるライセンス契約 (17年4月)
申請 (17年4月)		KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	75mg 1日1回投与で優れた臨床効果を確認 (市中呼吸器感染症・耳鼻咽喉感染症) ・呼吸器、耳鼻科感染症の起炎菌、及びβラクタム系・マクロライド系抗菌薬耐性株に対して強力な抗菌活性を示す ・血漿比10倍を超える肺組織への良好な移行性 高い安全性が期待される ・同系統の抗菌剤で懸念される、血糖値異常、光線過敏症、関節障害、消化器症状などを引き起こす可能性は低い	KRP-AM1977Xについては、追加の非臨床試験を実施中
申請準備中		KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社		
PhⅢ (17年3月)		KRP-116D	間質性膀胱炎治療剤	—	医療上の必要性の高い未承認薬・適用外薬に該当する「ジメチルスルホキシド」	
PhⅢ (17年6月)		KRP-108P	気管支喘息	英国 バクテリア社	喘息治療配合剤「フルティフォーム」の小児適応拡大	

開発品一覧② (2018年11月5日現在)

POCプロジェクト (Ph I ~ Ph II)

※前回 (2019年3月期 第1四半期 7月31日発表) からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
※Ph II (18年8月)		KRP-N118 (SK-1404)	夜間多尿による 夜間頻尿	(株)三和化学 研究所	バソプレシンV2受容体のアゴニストで、腎臓の 集合管で水の再吸収を促進して尿量を減ら す(抗利尿作用) 有効性と安全性に優れた夜間多尿に伴う夜 間頻尿治療薬として期待されている	(株)三和化学研究所とライセンス契約 (18年3月)
Ph II (18年6月)		Ad-SGE-REIC	悪性胸膜中皮腫	岡山大学	岡山大学で発見された新規がん抑制遺伝子 REICを使用する遺伝子治療薬。がん細胞 選択的アポトーシスと抗がん免疫の活性化を 誘導することが期待される	産学共同実用化開発事業 [NexTEP]への採択(14年6月) 【米国】桃太郎源(株)が前立腺がんの 臨床試験(Ph I / II)実施中 【日本】岡山大学で肝がんの医師主 導臨床治験 (Ph I / I b)実施中

導出品の状況

開発段階/海外	製品名・ 開発コード	導出先	薬効	起源	特徴	備考
Ph I	FPR2作動薬 プログラム	米国 プリストル・マイヤーズスクイブ社	非開示	自社	FPR2作動薬。主に好中球の遊走を 抑制し抗炎症作用を示す	プリストル・マイヤーズスクイブ社 とライセンス契約 (15年12月)

参考資料

報告セグメントごとの売上高および利益

(単位：億円)	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	504	-4	29	+15
医療用医薬品事業計	476	-4	27	+15
◆新医薬品	340	-10		
○国内	334	-10		
○海外	6	+1		
◆後発医薬品	136	+6		
ヘルスケア事業計	28	0	0	-1
調整額	-	-	2	+1

損益計算書の概要（連結）－①

<当期のポイント：対前年>

(対前年)

- 売上高 **50,360百万円** (-398百万円)
- 国内新医薬品 **33,424百万円** (-1,024百万円)

(億円)	18.3 (2Q)		19.3 (2Q)
・フルティフォーム	54	⇒	61 (+7)
・ウリトス	36	⇒	35 (-1)
・デザレックス	9	⇒	28 (+19)
・キプレス	90	⇒	62 (-28)
・ペンタサ	80	⇒	71 (-9)
・ムコダイン	39	⇒	31 (-8)
・ナゾネックス	-	⇒	13 (+13)
- 海外新医薬品 **604百万円** (+81百万円)

・ガチフロキサシン	3	⇒	4 (+1)
-----------	---	---	--------
- 後発医薬品 **13,552百万円** (+547百万円)
 - ・モンテルカストAGの売上が拡大
 - ・18年6月発売の追補品等が売上に寄与
- ヘルスケア事業 **2,779百万円** (-2百万円)

(単位：百万円)	18年3月期 第2四半期		19年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	50,758	100.0%	50,360	100.0%	-0.8%	-398
医療用医薬品事業	47,977	94.5%	47,581	94.5%	-0.8%	-395
◆新医薬品	34,972	68.9%	34,028	67.6%	-2.7%	-943
○国内	34,449	67.9%	33,424	66.4%	-3.0%	-1,024
○海外	523	1.0%	604	1.2%	+15.5%	+81
◆後発医薬品	13,005	25.6%	13,552	26.9%	+4.2%	+547
ヘルスケア事業	2,781	5.5%	2,779	5.5%	-0.1%	-2

<連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社7社： 杏林製薬(株)
Kyorin USA, Inc.
Kyorin Europe GmbH
ActivX Biosciences, Inc.
キョーリン リメディオ(株)
キョーリン メディカルサプライ(株)
キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

損益計算書の概要（連結）－②

(単位：百万円)	18年3月期 第2四半期		19年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	50,758	100.0%	50,360	100.0%	-0.8%	-398
売上原価	23,128	45.6%	23,758	47.2%	+2.7%	+629
売上総利益	27,630	54.4%	26,602	52.8%	-3.7%	-1,027
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	26,186 (7,179)	51.6% (14.1%)	23,749 (5,030)	47.2% (10.0%)	-9.3% (-29.9%)	-2,437 (-2,148)
営業利益	1,443	2.8%	2,852	5.7%	+97.6%	+1,409
営業外収益	325	0.6%	372	0.7%	+14.6%	+47
営業外費用	75	0.1%	42	0.1%	-43.5%	-32
経常利益	1,693	3.3%	3,183	6.3%	+88.0%	+1,489
特別利益	627	1.2%	2	0.0%	-99.7%	-624
特別損失	420	0.8%	73	0.1%	-82.6%	-346
税金等調整前 四半期純利益	1,900	3.7%	3,111	6.2%	+63.8%	+1,211
法人税・住民税 及び事業税	487	1.0%	611	1.2%	+25.4%	+123
法人税等調整額	172	0.3%	282	0.6%	+64.4%	+110
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,240	2.4%	2,217	4.4%	+78.8%	+977

<当期のポイント>

- ◆原価率：前年比1.6ポイント上昇
(45.6%→47.2%)
 - ・薬価改定等の影響
 - ・後発医薬品の売上増加
- ◆研究開発費率：前年比4.1ポイント低下
(14.1%→10.0%)
 - ・72億円→50億円(22億円減少)
- ◆販管費率(除くR&D費)：前年比0.2ポイント低下
(37.4%→37.2%)
 - ・190億円→187億円(3億円減少)
 - 主に人件費、販売費の減少
- 営業利益 **2,852百万円** (+1,409百万円)
 - ・営業利益率は5.7%と2.9ポイント上昇
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 **2,217百万円** (+977百万円)
- 配当(中間) **30円00銭**

貸借対照表の概要 (連結)

(単位：百万円)	※ 18年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	119,946	61.0%
現金及び預金	44,117	
受取手形及び売掛金	47,862	
有価証券	599	—
棚卸資産	23,308	
その他流動資産	4,058	
固定資産	76,789	39.0%
有形固定資産	21,901	
無形固定資産	1,750	—
投資その他	53,137	
資産合計	196,736	100.0%

流動負債	25,134	12.8%
支払手形及び買掛金	10,266	—
その他流動負債	14,868	
固定負債	8,303	4.2%
負債合計	33,438	17.0%
株主資本	155,489	79.0%
その他の包括利益累計額	7,808	4.0%
その他有価証券評価差額金	10,101	
為替換算調整勘定	83	—
退職給付に係る調整累計額	-2,377	
純資産合計	163,297	83.0%
負債及び純資産合計	196,736	100.0%

19年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
116,917	59.6%	-3,029
45,826		
39,608		
1,699	—	—
25,966		
3,816		
79,338	40.4%	+2,548
21,730		
2,505	—	—
55,102		
196,255	100.0%	-480

22,724	11.6%	-2,410
11,643	—	—
11,081		
8,912	4.5%	+608
31,636	16.1%	-1,801
155,035	79.0%	-453
9,582	4.9%	+1,774
11,641		
54	—	—
-2,112		
164,618	83.9%	+1,320
196,255	100.0%	-480

<当期のポイント>

- **流動資産：3,029百万円減** (対前年)
 - ・現金及び預金の増加 (+1,709百万円)
 - ・受取手形及び売掛金の減少 (-8,254百万円)
 - ・有価証券の増加 (+1,099百万円)
 - ・棚卸資産の増加 (+2,657百万円)
 - ・その他流動資産の減少 (-241百万円)
- **固定資産：2,548百万円増**
 - ・有形固定資産の減少 (-171百万円)
 - ・無形固定資産の増加 (+755百万円)
 - ・投資その他の増加 (+1,964百万円)

- **流動負債：2,410百万円減**
 - ・支払手形及び買掛金の増加 (+1,376百万円)
 - ・その他流動負債の減少 (-3,786百万円)
- **固定負債：608百万円増**

※税効果会計に係る会計基準一部改正により遡及適用後の数値を記載しております

主な業績項目の推移（連結）

(単位：百万円)	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	※1 18年3月期	19年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	54,628 (343)	50,758 (523)	50,360 (604)	110,640 (3,339)	114,400 (1,000)
売上原価 (売上原価率) %	23,830 (43.6%)	23,128 (45.6%)	23,758 (47.2%)	49,064 (44.3%)	—
販売費及び一般管理費 (販管費率) %	27,134 (49.7%)	26,186 (51.6%)	23,749 (47.2%)	52,753 (47.7%)	—
うち研究開発費 (研究開発費率) %	7,327 (13.4%)	7,179 (14.1%)	5,030 (10.0%)	14,243 (12.9%)	11,600 (10.1%)
営業利益 (営業利益率) %	3,663 (6.7%)	1,443 (2.8%)	2,852 (5.7%)	8,822 (8.0%)	8,600 (7.5%)
経常利益 (経常利益率) %	3,921 (7.2%)	1,693 (3.3%)	3,183 (6.3%)	9,345 (8.4%)	9,200 (8.0%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率) %	2,684 (4.9%)	1,240 (2.4%)	2,217 (4.4%)	6,574 (5.9%)	6,600 (5.8%)
一株当たり利益(円)	36.56円	16.86円	30.04円	89.28円	※2 100.68円
資本金	700	700	700	700	—
総資産	188,285	189,993	196,255	196,736	—
純資産	153,719	157,501	164,618	163,297	—
一株当たり純資産(円)	2,093.71円	2,138.99円	2228.81円	2,214.13円	—
自己資本利益率 %	1.7%	0.8%	1.4%	4.1%	—
自己資本比率 %	81.6%	82.9%	83.9%	83.0%	—
人員(人)	2,427人	2,378人	2,334人	2,348人	—
設備投資	1,383	1,989	949	2,885	2,800
減価償却費	1,751	1,710	1,395	3,644	2,900

※1 税効果会計に係る会計基準一部改正により、遡及適用後の数値を記載しております。

※2 連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、2018年10月2日に実施した自己株式取得の影響を考慮しております

損益計算書の概要：杏林製薬－①

<当期のポイント>

(対前年)

- 売上高 **43,957百万円** (-536百万円)
- 国内新医薬品 **32,452百万円** (-1,086百万円)

(億円)	18.3 (2Q)	⇒	19.3 (2Q)	
・フルティフォーム	54	⇒	61	(+7)
・ウリス	36	⇒	35	(-1)
・デザレックス	9	⇒	28	(+19)
・キプレス	90	⇒	62	(-28)
・ペンタサ	80	⇒	71	(-9)
・ムコダイン	39	⇒	31	(-8)
・ナゾネックス	-	⇒	13	(+13)

- 海外新医薬品 **477百万円** (+43百万円)
- ・ガチフロキサシン 3 ⇒ 4 (+1)

- 後発医薬品 **8,534百万円** (+499百万円)
- ・モンテルカストAGが拡大

- ヘルスケア事業 **2,493百万円** (+8百万円)
- ・ミルトン 11 ⇒ 11 (0)
- ・ルビスタ 5 ⇒ 6 (+1)

(単位：百万円)	18年3月期 第2四半期		19年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	44,493	100.0%	43,957	100.0%	-1.2%	-536
医療用医薬品事業	42,008	94.4%	41,463	94.3%	-1.3%	-544
◆新医薬品	33,972	76.4%	32,929	74.9%	-3.1%	-1,043
○国内	33,538	75.4%	32,451	73.8%	-3.2%	-1,086
○海外	434	1.0%	477	1.1%	+9.9%	+43
◆後発医薬品	8,035	18.1%	8,534	19.4%	+6.2%	+499
ヘルスケア事業	2,485	5.6%	2,493	5.7%	+0.3%	+8

損益計算書の概要：杏林製薬－②

(単位：百万円)	18年3月期 第2四半期		19年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	44,493	100.0%	43,957	100.0%	-1.2%	-536
売上原価	19,982	44.9%	20,747	47.2%	+3.8%	+764
売上総利益	24,511	55.1%	23,210	52.8%	-5.3%	-1,301
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	24,253 (6,691)	54.5% (15.0%)	21,541 (4,556)	49.0% (10.4%)	-11.2% (-31.9%)	-2,712 (-2,135)
営業利益	257	0.6%	1,669	3.8%	+547.7%	+1,411
営業外収益	446	1.0%	322	0.7%	-27.7%	-123
営業外費用	64	0.1%	24	0.1%	-62.0%	-39
経常利益	639	1.4%	1,967	4.5%	+207.6%	+1,327
特別利益	50	0.1%	—	—	—	-50
特別損失	396	0.9%	68	0.2%	-82.8%	-328
税引前四半期純利益	294	0.7%	1,899	4.3%	+545.7%	+1,605
法人税・住民税 及び事業税	233	0.5%	339	0.8%	+45.3%	+105
法人税等調整額	-139	-0.3%	240	0.5%	-272.9%	+380
四半期純利益	200	0.4%	1,319	3.0%	+559.3%	+1,118

<当期のポイント>

◆ **原価率：前年比 2.3ポイント上昇**
(44.9%→47.2%)

- ・薬価改定等の影響
- ・後発医薬品の売上増加

◆ **研究開発費率：前年比 4.6ポイント低下**
(15.0%→10.4%)

- ・67億円→46億円 (21億円減少)

◆ **販管費率(除くR&D費)：前年比0.9ポイント低下**
(39.5%→38.6%)

■ **営業利益 1,669百万円 (+1,411百万円)**

- ・営業利益率は3.8%と3.2ポイント上昇

■ **四半期純利益 1,319百万円 (+1,118百万円)**

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)	※ 18年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	82,803	54.6%
現金及び預金	18,527	
売掛金	43,151	
有価証券	599	—
棚卸資産	17,736	
その他流動資産	2,789	
固定資産	68,818	45.4%
有形固定資産	12,649	
無形固定資産	1,324	—
投資その他	54,844	
資産合計	151,622	100.0%

流動負債	19,397	12.8%
買掛金	7,863	
その他流動負債	11,533	—
固定負債	3,609	2.4%
負債合計	23,007	15.2%
株主資本	118,595	78.2%
評価・換算差額等	10,019	6.6%
純資産合計	128,614	84.8%
負債及び純資産合計	151,622	100.0%

19年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
80,352	55.1%	-2,451
20,975		
35,527		
1,699	—	—
19,345		
2,804		
65,544	44.9%	-3,273
7,724		
2,154	—	—
55,665		
145,896	100.0%	-5,725

17,687	12.1%	-1,709
9,597		
8,090	—	—
5,190	3.6%	+1,580
22,878	15.7%	-128
111,473	76.4%	-7,121
11,544	7.9%	+1,524
123,018	84.3%	-5,596
145,896	100.0%	-5,725

<当期のポイント>

■ 流動資産：2,451百万円減 (対前年)

- ・現金及び預金の増加 (+2,447百万円)
- ・売掛金の減少 (-7,623百万円)
- ・有価証券の増加 (+1,099百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+1,609百万円)

■ 固定資産：3,273百万円減

- ・有形固定資産の減少 (-4,924百万円)
- ・無形固定資産の増加 (+830百万円)
- ・投資その他の増加 (+820百万円)

■ 流動負債：1,709百万円減

- ・買掛金の増加 (+1,733百万円)

■ 固定負債：1,580百万円増

※税効果会計に係る会計基準一部改正により遡及適用後の数値を記載しております

主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位：百万円)	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	※18年3月期	19年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	47,396 (221)	44,493 (434)	43,957 (477)	97,459 (3,115)	100,900 (700)
売上原価 (売上原価率) %	20,472 (43.2%)	19,982 (44.9%)	20,747 (47.2%)	42,885 (44.0%)	—
販売費及び一般管理費 (販管费率) %	25,010 (52.8%)	24,253 (54.5%)	21,541 (49.0%)	48,645 (49.9%)	—
うち研究開発費 (研究開発费率) %	6,948 (14.7%)	6,691 (15.0%)	4,556 (10.4%)	13,158 (13.5%)	9,900 (9.8%)
営業利益 (営業利益率) %	1,912 (4.0%)	257 (0.6%)	1,669 (3.8%)	5,928 (6.1%)	5,800 (5.7%)
経常利益 (経常利益率) %	2,259 (4.8%)	639 (1.4%)	1,967 (4.5%)	6,608 (6.8%)	6,300 (6.2%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率) %	1,510 (3.2%)	200 (0.5%)	1,319 (3.0%)	4,637 (4.8%)	4,600 (4.6%)
一株当たり利益(円)	20.34円	2.69円	17.76円	62.45円	—
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	—
総資産	148,281	147,124	145,896	151,622	—
純資産	123,764	123,871	123,018	128,614	—
一株当たり純資産(円)	1,666.46円	1,667.90円	1,656.41円	1,731.76円	—
自己資本利益率 %	1.2%	0.2%	1.0%	3.7%	—
自己資本比率 %	83.5%	84.2%	84.3%	84.8%	—
人員(人)	1,725人	1,707人	1,606人	1,673人	—
設備投資	547	460	193	815	600
減価償却費	1,038	915	521	1942	1,100

※税効果会計に係る会計基準一部改正により遡及適用後の数値を記載しております

■ 将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。